

フロイデ！三郷に第九を歌う文化を

三郷市文化会館 / 瑞沼市民センター

048-957-7546 (真野)

練習日：土曜 14:00～16:00 水曜 18:50～20:50

HP <http://www12.plala.or.jp/suet1941/>

年末が近づくと耳にするベートーヴェンの「第九（交響曲第九番）」。三郷にも、毎年「第九」合唱コンサートを行っている合唱団があるの。その名も、「三郷第九合唱団」！ つぶちゃん、取材に行ってみようよ。



練習中に、お邪魔しまーす。
わあ～、すごい活気！

「三郷第九合唱団」は、2008年に開催された「三郷第九演奏会」をきっかけに結成された合唱団。長年、交響楽団の指揮を務めてきた米原豊先生と、ピアノの白子満由美先生の指導のもと、日々、練習に励んでいるよ。三郷にオーケストラをバックに、第九を歌う文化を根付かせることを目標にしてるんだって。



毎年12月に三郷市文化会館で開催されるコンサートは、二部構成になっていて、「第九」の合唱だけでなく、第一部では他の曲も鑑賞できるの。今年は、喜歌劇「こうもり」に挑戦するそう。三郷市文化会館で、オーケストラピットを使うオペラを観られるのは、これが初めてなんだって。ワクワクするね、つぶちゃん。



私たちがお邪魔した時は、ちょうど「こうもり」の通し稽古のまっ最中。常に演出班の団員の厳しい指示が入って、みんな真剣！ 歌って、踊って、渾身の演技をする姿に、つぶちゃんと2人、息を呑んで見入ってしまった。稽古が終わって、団員さんの表情がふっと緩む瞬間が、またイキイキとして素敵なんだ。

続いて始まった「第九」の「歓喜の歌」の練習では、その迫力にびっくり！



地下から響いてくるかのような男性の低音パート。
対照的に、天から降り注ぐような女性の高音パート。
ほとんどの団員さんが、初心者から始めたなんて信じられない！

ご自身もほぼ未経験から入団したという、最年長84歳の団員、小田さんにお話を伺ったよ。



「第九を歌うのが生きがいだと語った、会社員時代の先輩の話に感動して始めたのですが、すっかりハマってしまいました。歌っていると体も心も元気になってきますよ。みなさんにも大いに勧めたいですね。」って、本当に楽しそうに話してくれたよ。まさに、歌で人生を満喫しているね。

練習は水曜夜と土曜午後に実施。団員は初心者大歓迎で、隨時募集しているそう。ぜひ、今年(平成28年)12月25日に開催されるコンサートで、その素晴らしさを感じてね。



コンサートチケット販売中
詳しくはこちら <http://bunka.misato-hall.com/shop>